

＜水稻＞ 節間短縮による倒伏軽減

1. ロミカ粒剤およびスマレクト粒剤は水溶解度が低いため、湛水状態で均一に散布する。なお、火山灰土や減水深の小さいほ場では効果が低い。倒伏軽減剤を使用する場合でも穂肥の多用などは行わない。倒伏軽減剤（ビビフルフロアブルは除く）を使用した水田土は野菜類等の育苗土には使用しない。また水田での後作やメロン培地への使用は葉害が出る場合があるので注意する。
2. ビビフルフロアブルは伸長を過度に抑制させないため多量散布や重複散布にならないよう注意する。特に、散布むらが発生しやすい鉄砲ノズルや畦畔散布ノズルでの散布は避け、少量散布の場合は専用ノズルを用いて葉面に均一に散布する。
3. ビビフルフロアブル、スマレクト粒剤は無人ヘリコプターでの散布登録がある。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ビビフルフロアブル		出穂10～2日前	1回	茎葉散布
スマレクト粒剤		出穂7～20日前	1回	湛水散布
ロミカ粒剤		出穂25～10日前まで	1回	湛水散布

＜稲(箱育苗)＞ 刈苗防止

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ナエファイン粉剤	F:U17(U)	は種前	1回	育苗箱土壌に均一に混和する。
ナエファインフロアブル	F:U17(U)	は種時～緑化期	2回以内	土壌灌注
ナエファインフロアブル	F:U17(U)	は種時	2回以内	土壌灌注

＜稲(箱育苗)＞ 根の生育促進、移植後の活着促進

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ナエファイン粉剤	F:U17(U)	は種前	1回	育苗箱土壌に均一に混和する。
ナエファインフロアブル	F:U17(U)	は種時～緑化期	2回以内	土壌灌注
ナエファインフロアブル	F:U17(U)	は種時	2回以内	土壌灌注